



町のマスクットキャラクター「くにももたん」のぬいぐるみ完成発表会と特別販売会が2月9日、道の駅国見あつかしの郷で開催されました。完成発表会では、多くの人がお土産や記念にと買い求め、購入者に「くにももたん」の缶バッジが配られました。購入者からは「ももたんがかわいいのでたくさん買いました。大切にします」との声もあり、大人から子どもまで好評でした。

くにももたんぬいぐるみ

販売場所
道の駅国見あつかしの郷

販売価格
Sサイズ (10cm) : 550円
Mサイズ (15cm) : 880円



くにももたん ぬいぐるみが誕生!!



これからもワンチームで「安全・安心でおいしい」野菜づくりをしていきます

くにみ農業ビジネス訓練所で生産している「ミニトマト」が、1月29日に開催された判定委員会でJGAPに認証されました。

担い手の育成や多種多品目栽培に取り組んでいる訓練所のミニトマトでは、JGAPを取得したことは、訓練所での研修そのものがすぐれていることを意味するもので、研修運営に弾みがつくものです。

認証取得の記者発表が2月19日、訓練所で開かれ、太田久雄町長が「道の駅などで好評のミニトマトがJGAPの認証を得たことで、安全・安心でおいしい野菜づくりを通して国見ブランド確

立に向けてさらに歩を進めていきます」とあいさつ。訓練所関係者全員が一体感を持って安全・安心な野菜づくりを目標に細やかな取り組みの成果が認証取得へつながりました。

多くの人に訓練所産ミニトマトのおいしさを知ってもらおうと2月29日、訓練所ミニトマトJGAP認証取得を祝って特別販売会と収穫体験が行われました。道の駅国見あつかしの郷では、試食や無料配布、特別価格での販売が行われ、ミニトマトを試食した来場者からは大好評でした。

また、訓練所では小学3年生以下を対象とした収穫体験が行われ、子どもたちは嬉しそうに真っ赤なミニトマトを袋一杯に収穫していました。



空家バンク登録と運用の協定締結

空家対策におけるバンクの登録及び運用に関する協定締結式



協定書を交わす太田町長 (中央) と福井取締役 (左)、嶋田代表取締役 (右)

国見町は、空家などの有効活用と移住・定住の促進を図るため、空家関連の専用サイト開設にあたり高い情報発信力がある株式会社あきやカンパニー (福井信行取締役) と町のまちづくりアドバイザーで空家の活用に専門知識を持つ株式会社らいおん建築事務所 (嶋田洋平代表取締役) と「空家等バンクの登録及び運用に関する連携協定」を締結しました。

締結式は2月18日に国見町役場で行われ、太田久雄町長と福井取締役、嶋田代表取締役の3者で協定書を取り交わしました。太田町長は「両者と連携して、空家を有効活用し、人口減少の歯止めや地域経済の活性化につなげたい」とあいさつ。

今後は、町の空家情報を全国的に発信し、空家の活用などに取り組んでいきます。

JGAPとは!?

JGAP (ジェイ・ギャップ) は、農林水産省が導入を推奨する農業生産工程管理手法の1つです。農産物の安全性などを管理するGAP (農業生産工程管理) の国内認証で食の安全や環境保全に取り組む農場に与えられる認証です。

JGAP認証農場は、消費者にとって安心して購入・取引できる農場です。JGAPは「適切な農場管理の基準」であり、農業の管理、肥料の管理、水の管理、土の管理といった仕事に明確な基準が定められています。それらの基準は全部で120以上の項目数になります。認証は、JGAPの基準にもとづいて、第三者機関の審査により確認された農場に与えられるのでJGAP認証は「良い農場の目印」となります。

* JGAPは、Japan Good Agricultural Practice (日本の良い農業のやり方) の略です。



おいしいミニトマトはどれかな



多くの人で賑わった特別販売会